

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 モジュール株式会社

コード番号 3043 URL <http://www.modulat.com>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 木原 礼子

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役 経営・管理担当 (氏名) 藤井 隆徳

TEL 03-3454-2061

四半期報告書提出予定日 平成25年8月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	449	26.5	13	137.7	92	60.0	86	62.4
25年3月期第1四半期	355	5.4	5	△83.8	57	68.4	53	55.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	63.33	—
25年3月期第1四半期	38.99	—

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,385	443	32.0
25年3月期	1,264	377	29.8

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 443百万円 25年3月期 377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	1,619.00	1,619.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。平成26年3月期の年間配当金は実質増配の1株あたり18円となる予定です。

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,000	11.5	140	34.0	190	1.3	100	12.7	72.99

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	1,370,000 株	25年3月期	1,370,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	— 株	25年3月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	1,370,000 株	25年3月期1Q	1,370,000 株
----------	-------------	----------	-------------

(注)当社は、平成25年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。そのため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」を御覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	2
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	2
4. 四半期財務諸表	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、昨年末の新政権誕生による経済政策や金融政策への期待感から、円安株高が進行するなど、景気回復の兆しが見受けられました。企業収益は改善の動きが見られ、設備投資は下げ止まりつつあり、雇用情勢も厳しさは残るものの持ち直しの動きが見られるなど、景気回復へ向かうことが期待されております。

このような環境の中、「本業である企業向けの継続的ITサービスへの集中」、「各種ITサービスの大型化や長期化」、「新しいITサービスの立ち上げ」、「全社的な業務効率化の推進」、「堅実な経営管理体制の更なる推進」などに取り組んでまいりました。

・ITサービス売上

当社の本業である「継続ITサービス」の売上は、ほぼ計画通りで堅調に推移、「一時的ITサービス」の売上も商品売上に付随する作業案件等が増加し、比較的堅調に推移しました。その結果、ITサービスの売上高は279,625千円（前年同期比0.9%減）となりました。

・商品売上

商品売上におきましては、厳しい事業環境は続いているものの、設備投資は前事業年度より引き続き緩やかに持ち直しつつあり、主要顧客からのサーバー拡張案件や新たなソリューション製品の販売が実績を上げ始めたこと等により、順調に推移しました。その結果、商品売上は169,903千円（前年同期比131.7%増）となりました。

費用面につきましては、前年同期に計上した本社移転関連費用が当期は発生しない等若干減少し、営業利益の増加に寄与しております。

なお、当第1四半期会計期間において、当社が主要顧客に対し提供している大型サービス契約に使用しているソフトウェアを、長期に渡り安定的にサービスを提供することを目的に、本ソフトウェアを当社が取得することとし、その取得費用を当社が取得先に対して有する貸付債権の一部と相殺することといたしました。その結果、当該貸付金に対して設定していた貸倒引当金の一部を取崩し、貸倒引当金戻入額76,662千円を計上しました。

以上により、当社の当第1四半期累計期間の業績は、売上高449,529千円（前年同期比26.5%増）、営業利益13,147千円（前年同期比137.7%増）、経常利益92,583千円（前年同期比60.0%増）、四半期純利益86,765千円（前年同期比62.4%増）となりました。

なお、当社の事業はITアウトソース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は前事業年度末に比べ120,793千円増加し、1,385,392千円となりました。

これは、売掛金の減少や長期貸付金の減少等があったものの、現金及び預金や無形固定資産の増加、貸倒引当金戻入による貸倒引当金の減少等があったことによるものです。

負債合計は、前事業年度末に比べ55,021千円増加し、942,155千円となりました。これは、買掛金や保険積立金解約損失引当金、長期借入金の減少等があったものの、前受金の増加等があったことによるものです。

純資産は、前事業年度末に比べ65,772千円増加し443,237千円となりました。これは、四半期純利益計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

なお、自己資本比率は前事業年度末と比較して2.2ポイント増加し、32.0%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想数値につきましては、平成25年5月10日公表時から変更しておりません。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。また、変更があった場合には速やかに開示を行います。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	163,400	211,683
売掛金	177,838	99,760
受取手形	—	5,071
商品	59,907	87,039
仕掛品	3,176	6,856
リース投資資産	65,523	71,593
繰延税金資産	17,313	10,968
その他	45,516	71,711
貸倒引当金	△1,296	△764
流動資産合計	531,380	563,921
固定資産		
有形固定資産		
貸貸用資産(純額)	336,761	317,649
その他(純額)	12,056	12,459
有形固定資産合計	348,818	330,108
無形固定資産		
ソフトウェア	19,648	91,407
貸貸用資産	60,537	241,536
無形固定資産合計	80,185	332,944
投資その他の資産		
投資有価証券	16,279	18,467
長期貸付金	351,062	157,337
その他	170,872	139,950
貸倒引当金	△234,000	△157,337
投資その他の資産合計	304,214	158,418
固定資産合計	733,218	821,471
資産合計	1,264,599	1,385,392
負債の部		
流動負債		
買掛金	145,722	129,306
1年内返済予定の長期借入金	257,330	245,528
未払金	54,037	47,625
前受金	181,182	346,400
賞与引当金	7,983	10,452
保険積立金解約損失引当金	20,664	—
その他	60,434	23,618
流動負債合計	727,355	802,932
固定負債		
長期借入金	159,779	139,223
固定負債合計	159,779	139,223
負債合計	887,134	942,155

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,219	254,219
資本剰余金	31,558	31,558
利益剰余金	90,875	155,461
株主資本合計	376,654	441,240
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	810	1,997
評価・換算差額等合計	810	1,997
純資産合計	377,464	443,237
負債純資産合計	1,264,599	1,385,392

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	355,417	449,529
売上原価	252,867	346,051
売上総利益	102,549	103,477
販売費及び一般管理費	97,018	90,329
営業利益	5,530	13,147
営業外収益		
受取利息	3,521	—
貸倒引当金戻入額	52,819	76,662
その他	976	5,396
営業外収益合計	57,317	82,059
営業外費用		
支払利息	3,310	2,624
為替差損	1,661	—
営業外費用合計	4,972	2,624
経常利益	57,876	92,583
特別損失		
事務所移転費用	383	—
特別損失合計	383	—
税引前四半期純利益	57,493	92,583
法人税、住民税及び事業税	169	239
法人税等調整額	3,912	5,577
法人税等合計	4,082	5,817
四半期純利益	53,411	86,765

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。